

2017年2月2日
日本板硝子株式会社

2017年3月期 第3四半期連結決算報告 (2016年4月1日～2016年12月31日)

- 2017年3月期第3四半期の営業利益は、為替換算の影響を受けるも、前年同期を大きく上回る
- キャッシュ・フローは大きく改善
- 高付加価値品の販売数量は着実に増加
- 2017年3月期通期の業績予想に変更なし
- A種種類株式400億円の発行

2017年3月期第3四半期の営業利益は、為替換算の影響を受けるも、前年同期を大きく上回る

- グループ売上は4,307億円で、円高の影響により前年同期から減少(前年同期4,796億円)
- 無形資産償却前営業利益は、欧州市場の改善やエネルギーコストの減少及びVA化の進展によって大きく改善し、228億円(前年同期166億円)
- 建築用ガラス事業は、売上1,781億円(前年同期2,014億円)、無形資産償却前営業利益207億円(前年同期167億円)
- 自動車用ガラス事業は、売上2,179億円(前年同期2,397億円)、無形資産償却前営業利益78億円(前年同期50億円)
- 高機能ガラス事業は、売上344億円(前年同期378億円)、無形資産償却前営業利益4億円(前年同期3億円)

キャッシュ・フローは大きく改善

- フリー・キャッシュ・フローは32億円のプラスまで改善(前年同期222億円のマイナス)

高付加価値品の販売数量は着実に増加

- 建築用ガラス事業の欧州と北米では、高付加価値品の販売数量の増加等により、業績が堅調に推移

A種種類株式400億円の発行

- 自己資本を充実し、金融費用の削減によって財務安定化を図る
- VA No.1戦略の着実な推進のための投資枠の確保
- 2017年3月24日開催予定の臨時株主総会における決議が条件

<2017年3月期第3四半期 連結決算説明資料より抜粋>

連結損益計算書

(億円)	16年3月期 4月-12月期	17年3月期 4月-12月期	前年比
売上高	4,796	4,307	-10% ²
無形資産償却前営業利益	166	228	37% ³
償却費 ¹	(60)	(27)	
営業利益	106	201	90%
個別開示項目	(32)	54	
金融費用(純額)	(137)	(138)	
持分法による投資損益	(10)	8	
税引前利益/(損失)	(73)	125	
当期利益/(損失)	(123)	59	
親会社の所有者に帰属する当期利益/(損失)	(141)	46	
EBITDA	419	443	6%

¹ ビルキントン買収に伴って発生した無形資産の償却
² 為替変動を除くと、3%増
³ 為替変動を除くと、64%増

為替換算の影響を受けるも、業績改善

2017年2月2日 | 2017年3月期第3四半期決算報告

